

## 資料2 希望番号取得者の新たな決定方法 の方向性について

---

## 課題及び方向性

## 第8回検討会資料抜粋

### ①当選個数増加と番号払底の関係

人気のある抽選対象番号の当選倍率を低減させるため、抽選対象番号の当選個数を増加させる方法が考えられる。一方で当選個数の増加は、当初予定していた番号払底時期を早めることとなるため、番号払底対策を並行して検討する必要がある。

### ②抽選対象番号及び抽選個数の取扱い

人気のある抽選対象番号及びその当選倍率は、地域により異なる状況にある。抽選対象番号は地域により異なる運用をしているところ、当選個数についても当選倍率に応じて設定するなど地域により異なる運用とすることが考えられる。また、倍率が1倍以下となるような番号まで抽選番号とならないよう、運用することも考えられる。  
等

### <自家用の普通乗用自動車(3ナンバー)の例>



一地域において分類番号の数(400) × 平仮名等の数(29) = 11,600通りの一連指定番号の払出しが可能

# 倍率低下に向けた検討の方向性

- 当選個数増加による倍率低下の効果は限定的であることから、抽選参加料等によることを基本とし、以下の課題を解決するべく引き続き検討を進める。

## 抽選参加料等による倍率低下

### <課題>

- 抽選参加料の収受を寄付金とするか交付手数料とするか
- 抽選参加料の収受主体をどうするか
- 抽選参加料をいくらにするか  
(参加料を返却しないことに理解が得られるか)
- 抽選参加料の収入を何のために使用するか

+

## 抽選の運用改善

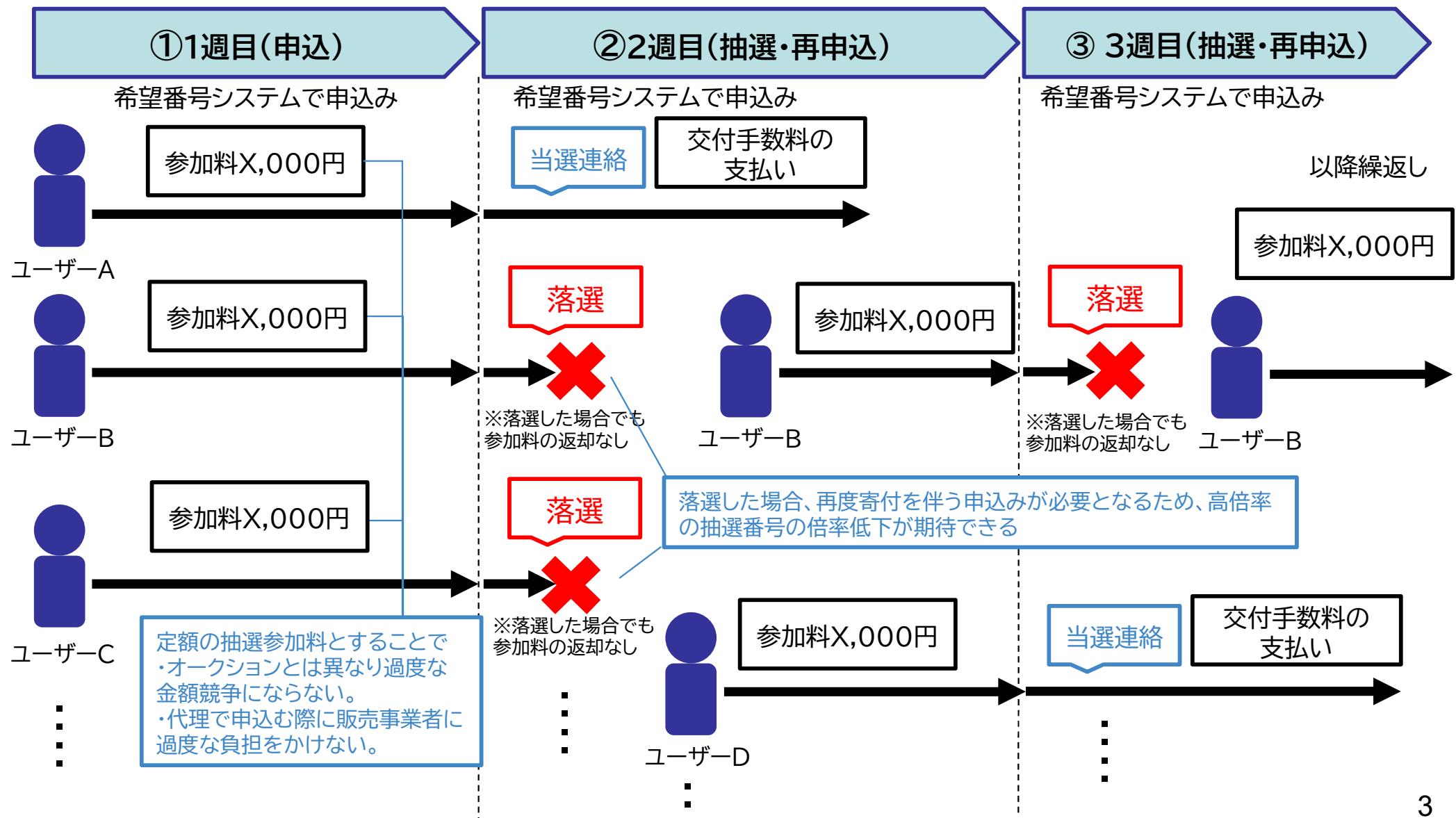
### <課題>

- 倍率が1倍以下となるような番号まで抽選番号とならないよう、運用とできいか
- 具体的な倍率を逐次情報提供することで行動変容を促せないか

# 抽選参加料による倍率低下を促す案

## 検討の方向性

- 委員のご指摘を踏まえ、申込み時に一定額以上の抽選参加料を支払うこととすると、倍率の低下が見込めるのではないか。
- この方式では、当選機会は幅広く提供可能であり、かつ、販売事業者に手間を多くかけないことが可能。



現在分類番号に使用しているアルファベット(10)

A	C		F	H		K	L	M		P						X	Y	
---	---	--	---	---	--	---	---	---	--	---	--	--	--	--	--	---	---	--

現在分類番号に使用していないアルファベット(16)と類似したアラビア数字(7)

B	D	E	G	I	J		N	O		Q	R	S	T	U	V	W		Z
8	0			1	7		0			5							2	

今後使用を検討する余地のあるアルファベット(9)

			E	G			N		Q	R	T	U	V	W			
--	--	--	---	---	--	--	---	--	---	---	---	---	---	---	--	--	--

<自家用の普通乗用自動車(3ナンバー)の例>



現在:  $20 \times 20 = 400$ 通り

29通り

$29 \times 29 = 841$ 通り

新たに9種類のアルファベットを使用した場合、分類番号は $29 \times 29 = 841$ 通りとなり、一地域において分類番号の数( $841$ ) × 平仮名等の数( $29$ ) =  $24,389$ 通りの一連指定番号の払出しが可能。

現在の11,600通りから12,789通り増加することから、週8個当選とした場合に $12,789 \div 8 \div 52$ 週 = 約30年分の一連指定番号を確保可能。ただし、製造メーカーにおいて、新たなアルファベットの使用に対応した製造機械の新設又は更新に対する費用と準備期間が必要。